事務事業評価表

3	平成 1 4	4 年度	文画信業 事要主	象の有無 🥼	無		電話()42 (7	69) 8291			
担当部課名 監査委員事務局 ▼												
事務事業名 監査委員事務局職場研修費 (外部監査制度視察) 事業コード												
		におけるイ										
	政策		第章						事業開始年度			
	基本施策		第節						11 ▼ 年			
	施 策		第 施策									
۷ ج	2 実施根拠及び関連法令等 											
	事業概要						Т	(2) -				
	1)事業 外郊飲杏		3年度から導入され	1スにあた!)	担程の改正・	も数本系員		<u>(∠))</u> 職員	対象(誰、何)			
			対応するため先進者				事が心り	唨貝				
					, ,,,,,,,,							
								114 I				
								対象 数	4人			
(3) 平成	.13年度事	業の内容		(4)	総合計画・実	 産施計画にお		要			
- 4	先進都市	視察			なし							
			日 2人×1日 2人×1日									
1	供, 八 巾	/ H y D	2 / X D									
	(5)個別計画の概要											
						計 画 名 計 画 年 次 11 年度 ~ 13 年度						
						計画年次 11 年度~ 13 年度 外部監査制度導入に伴い、他都市における対応など						
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							/\ k 1 + 61. 1					
								ICHICHEN	C0717 & X370.04 C			
								ונויונודט	C017 0 x 1 / C / A C			
1	並 価指揮	=						ונויום				
4	評価指標	西 示 						ונויופ				
	評価指標 指標名	蓝						I CHUNE				
		## 						기 다마마 의				
- 3	指標名	## T						1 네네핑				
- 3		—						ו לוולו				
- 3	指標名	## T						ו לוולוף בי				
4	指標名							ו לוולון ח				
: : : : : : : : : : : : : : : : : : :	指標名	## T						ו לוולוף				
指(指標名 指標式 指標設定 の意図							ו לוולון בי				
指(指標式指標設定		平成11年度	平成12年度	の情報で · · · · · · · · · · · · ·	を収集した。			〔金額単位:千円〕			
指(指標名 指標式 指標設定 の意図		平成11年度 実 績	平成12年度	の情報で · · · · · · · · · · · · ·	を収集した。)				
指(指標記念を実施を表する。	建			の情報で 平成 実 a	を収集した。	価対象年度目標)	〔金額単位:千円〕 平成14年度			
指(指標				の情報で 平成 実 a C	を収集した。	価対象年度 目標 b)	〔金額単位:千円〕 平成14年度			
指(指標 標意 標 と	all the state of	実績		の情報で 平成 実 a C e	を収集した。	価対象年度目標)	〔金額単位:千円〕 平成14年度			
指(指標 標意 標 と		実績		の情報で 平成 実 a C	を収集した。	価対象年度 目標 b)	〔金額単位:千円〕 平成14年度			
指(指標を指標を表する。 「は、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	續 予算)額	実績		で 平成 実 a C e 7	を収集した。	価対象年度 目標 b)	〔金額単位:千円〕 平成14年度			
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	指標を指標を表する。 「は、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	all the state of	実 績	実 績 6h	で 平成 実 a C e 7	を収集した。 13年度(評 績 11	<u>価対象年度</u> 目 標 b d f)	〔金額単位:千円〕 平成14年度			
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	指標を持続を表する。 「は、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	章 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	実 績 33 8h	実 績 6h	の情報で 平成 実 a C e 7	を収集した。 13年度(評 績 11 8h	<u>価対象年度</u> 目 標 b d f)	〔金額単位:千円〕 平成14年度			
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	指標の目と接続を持続している。 「おおおおから」は、「は、「は、「は、「は、」では、「は、「は、」では、「は、「は、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、」では、「は、、、」では、、、、、、、、、、	續 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	実 績 33 8h	実 績 6h	の情報で 平成 実 a C e 7	を収集した。 13年度(評 績 11 8h	<u>価対象年度</u> 目 標 b d f)	〔金額単位:千円〕 平成14年度			
1	指標を持続を表する。 「は、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	章 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	実 績 33 8h	実 績 	の情報で 平成 実 a C e 7	を収集した。 13年度(評 績 11 8h	<u>価対象年度</u> 目 標 b d f)	〔金額単位:千円〕 平成14年度			
i	指標の言と指指を入人を合えて、一般の言とは、一般の言とは、一般の言と、一般を表現である。	續 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	実績 33 8h 34	実 績 	の情報で 平成 実 a C e 7	を収集した。 13年度(評 績 11 8h 34	<u>価対象年度</u> 目 標 b d f	11 34	〔金額単位:千円〕 平成14年度 目 標			

6 個別評価

(1)達成度	モ・・・ 目標をどれだけ遺	を成したか	1							
評価	A:達成している	('	100%)							
A 🔻	A ▼ B:一部達成していない(100%)									
 	C:達成していない)	,	•						
а		(80%>	C	ı				e100		
$\frac{a}{b}$ × 100=					− × 100:	=				
	亚成13年度の外郊欧る	5.制度道)	3	ロ 時、視察研修の成果をもって遺漏な〈対処できた。				· ·		
理由:		1111文等/	いい、元示。	川沙の水木でし	ノし退派	9'&\	ع معرد	. 6 /6		
<u> </u>										
(2)必要性	・・・・時代変化に適応し	た事業に	内容か							
評価	A:適応している	理由:		秀田化等を計	会が要	ऋंत्रं	ろかカ)、外部監査制度はその一翼を担うもの		
	B:一部適応していない							代に適応している。		
	C : 適応していない	1	C 05 00 0	. 07 457 (1075 7.	יני טלו עם ל	· #/ 1 1/5	100.00	10122700000		
(3)経済性	t·効率性·・・費用対効	果は妥り	当か							
	A:妥当である	理由:		፬って 必要な	情報を	得るこ	とが	できた。視察に対する費用対効果は十分		
	B:一部妥当でない			たものと判断し						
	C:妥当でない		1010	200,27,32,70	(()	,				
(4)事業O	代替性・・・県、民間と	の役割	分担のあり	方から見て、	市が実	施して	ていく	ことが適当か		
	A:代替の可能性ない			台法により代替						
	B:代替の可能性低い	1	_, •,							
	C:代替の可能性高い	1								
(5)市民清	請足度・・・対象市民の	満足は得	られてい	るか						
評価	A:満足できる	理由:	外部監	査制度導入に	より市目	その活	起度	は十分と思料するが、満足度の基準は		
A -	B:一部満足できない	1	ない。							
' '	C:満足できない		- •							
(6)有効性	Ŀ・・・当該事業は上位の	の施策を	実現する.	上で有効か						
評価	A:有効である	理由:	外部監	査制度導入に	より、外	部か	50E	目による監査実施で、行政に対する市民		
A -	B:一部有効である		の信頼感	が向上する。	また、監	查查	員監	査の補完的又は代行的とされているの		
' '	C:有効でない		で、監査(の機能強化で	もある。					
AT /T . 15	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	 成度			成果向	〕上の	余地	1		
評1曲八	ランスチャート ^達 A	<i>III.</i> IS ⊥						説明:		
	,,					あ	る	導入までの準備及び契約方法等の情		
	В.	ļ \			_			報収集であるので、外部監査制度導入		
	有効性		必要性		✓	な	しし	後、必要性は少なくなった。		
	✓ C	† /								
	*	X								
					コスト	<u> </u>	全地			
	c +			×				説明:		
	市民満足度		経済性	か変性		あ	る	経費は、職員の旅費と人件費であり、		
	В	+ /	※主/月11	が十日	_			視察先は横浜市・川崎市と近くて経費		
					✓	な	L١	が少なくて済むよう配慮している。		
	A	*								
	事業の	D代替性								
7 総合評(西									
			横浜市及	び川崎市	平成1	1年月	きから	5外部監査制度導入済。		
	AAA ▼	他自治								
評価		体の類								
		似事業								
		との比								
今後の進め方 較										
_	<i>6</i> 14 <i>6</i> ±	1								
	継続		本市に	おいては 平月	廿13年	7日か	いらか	部監査制度を導入した。平成11年度か		
	B ± '	1						する助言等を受け、諸々の事務処理を遺		
	見 直 し							がある。		
		説明	11 // CD. RIAN	*#** C LIAM > 1 C C	- /C0 H		-175			

8二次評価における変更点

完

了